

授業計画の作成方針

群馬自動車大学校では、国土交通省で定める基準に従い、専門的な知識と高度な技術を有し、かつ、礼儀、責任、融和の精神に基づき人間性豊かな接客対応ができる自動車整備士の育成を目指しています。

その実現のために、学科では日本自動車整備振興会連合会発行の教科書に記載された内容を理解できることを目標に、各自動車メーカー独自の解説書や視覚教材などを用いた授業計画を作成しております。

実習については、授業科目の作業に習熟することを目標に、水素燃料自動車、電気自動車、ハイブリッドカー、自動安全装置付き自動車はもちろん、GT-Rやレクサスなど最新の教材車両やベンチエンジンやトランスミッションなどの単体教材も豊富にそろえており、一人ひとりの学生が実際に手に触れて作業できるように計画を作成しております。

学科、実習ともに国家試験資格を取得できるだけの知識レベルに加えて、新技術に対応できる知識、技術が修得できるよう、学外の委員も交えた教育課程編成委員会からの提案、要望等も考慮して日々授業内容を検討しております。

【一級自動車整備専攻科・一級自動車整備科】

- (1) 国土交通省で定める『自動車整備士養成施設の指定等の基準』における一種養成施設の「一級自動車整備士の養成課程」に準拠した教育計画に則り、学科、実習、実務実習を2年間で編成しております。
- (2) 産業能率大学と連携し、ビジネスの実務能力を習得するため、経営マネジメントに係る教育を実施しております。
- (3) 実習は少人数グループで、ナンバー付きの車両の車検整備をするなどより現場に近い実践的な実習内容を計画しております。

【二級自動車整備科】

- (1) 国土交通省で定める『自動車整備士養成施設の指定等の基準』における一種養成施設の「二級自動車整備士の養成課程」に準拠した教育計画に則り、学科、実習を2年間で編成しております。
- (2) 社会人としてのコミュニケーション能力や状況判断力及び接客能力の向上を目的とした教育を実施しております。
- (3) 実習は少人数グループで、基本的な整備技術の修得のほか、豊富な教材車両を使用し各メーカーの車両整備ができる内容となっております。

【国際メカニック科】

- (1) 国土交通省で定める『自動車整備士養成施設の指定等の基準』における一種養成施設の「二級自動車整備士の養成課程」に準拠した教育計画に則り、学科、実習を2.5年間で編成しております。
- (2) 社会人としてのコミュニケーション能力や状況判断力及び接客能力の向上を目的とした教育を実施しております。
- (3) 実習は少人数グループで、基本的な整備技術の修得のほか、豊富な教材車両を使用し各メーカーの車両整備ができる内容となっております。

【自動車車体整備科】

- (1) 国土交通省で定める『自動車整備士養成施設の指定等の基準』における一種養成施設の「自動車車体整備士の養成課程」に準拠した教育計画に則り、学科、実習を1年間で編成しております。
- (2) 実習は少人数グループで、車体整備に不可欠なフレーム修正機や調色用測定器、大型塗装ブース、水冷電気抵抗スポット溶接機など最先端の設備を使用している内容となっております。

【カスタマイズ科】

- (1) 学生が主体となり、コンセプトの立案からテーマの選定、車両デザイン、製作の過程を経て、1年間でオリジナルカーを創り上げます。二級自動車整備士養成課程及び自動車車体整備士養成課程で培った知識と技術を基に、車両製作に係る様々な知識と技術を修得できるよう計画しております。
- (2) 実習は少人数グループで、ベースになる車両を完全に解体した後、各部品について磨き、塗装、組み立て、調整、改造を施し、更には新たな部品を作成するなど、様々な技術を修得できる内容となっております。